

## ジオパークと教育

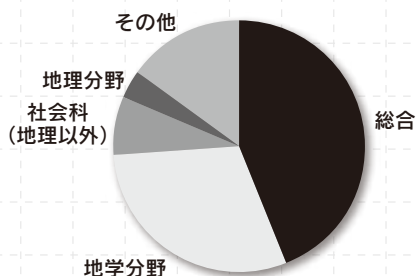
5月22日に千葉県幕張で開催された第10回日本ジオパーク全国研修会に参加してきました。研修会では「持続可能とは？またその教育とは？」をテーマに、ジオパークが教育にどう関わっていることができるかについて議論されました。

小・中学校の学習指導要領が平成29年3月31日に改定され、小学校は32年度から、中学校は33年度から全面实施されます。新しい要領では「持続可能な社会」という文言が繰り返し述べられており、これまでジオパークが取り組んできた「持続可能な地域社会づくり」は学校教育でより重点的に扱われることとなります。

ジオパークでは地域にある自然・文化を活用して、大地の成り立ちとそこに暮らす人の歴史を学ぶことができます。そのため、分野を横断した総合的な学習を展開することができます。「中学校でのジオパーク学習の教科的位置づけ」について、日本ジオパークネットワークが2

015年に全国のジオパークを対象に調査しました。この調査によると「総合」が一番多く56%、次いで「地学分野」が38%、続いて「社会科（地理以外）」、「地理分野」という結果でした。（※小数点以下省略）。また、単なる「地域学」ではなく、地球規模のスケールで地域を考えることができるのがジオパークによる教育の特徴です。

## 中学校でのジオパーク学習の教科的位置づけ



八峰白神ジオパークでも学校教育への取り組みとして出前授業「火山の噴火実験」や、野外教室「植物化石を探そう！」などを実施しています。今後はよりいっそう地域の教育への取り組みを進めていきたいと考えています。

## あきた白神まつり開催！

6月11日に2017あきた白神まつりが八峰町御所の台ふれあいパーク（あきた白神駅）を会場に秋田県主催で行われました。当日は多くの人が会場を訪れ、白神山地の恵みを受けた食料や秋田ヤマトセ、ハタヨガなどの出し物を楽しみました。また、留山、御所の台、八峰白神ジオパーク（海岸）を巡るトレッキングツアーも実施しました。

このイベントは、白神山地の魅力と保全の大切さを発信するために行われたものです。会場には食品ブースの他に、とうふ作りやネイチャークラフトなどの体験ブースが並び、訪れた家族連れで賑わいました。当日は八峰白神ジオパーク協議会もブースを出展し、パンフレットなどを配布して当ジオパークの魅力をPRしました。

また、「ベテランガイドが語る白神の魅力」と題したトークショーが行われ、八峰町白神方イドの会の辻正英さんと地主武玄さんが白神山地に生息する動植物やブナの原生林について解

説しました。また、当町の留山や二ツ森の魅力についても紹介しました。

八峰白神ジオパーク（海岸）を巡るトレッキングでは、合計で16人が参加し、普段何気なく眺めている海岸の秘密を楽しみながら学びました。参加者は「白神のスフィンクス」「瀧安の乙女」などを見学し、日本海がもたらした景観や災害についてガイドから解説を受けました。このイベントを通して八峰町や白神山地のPRができたのではないかと思います。



あきた白神まつりで  
行われたトークショー

八峰白神ジオパーク推進協議会

地域おこし協力隊 三輪 拓磨

〒018-2632

秋田県山本郡八峰町八森字三十釜一四四一

ぶなっこランド内

TEL 0185-77-3086